

# アビスパ福岡株式会社について

平成26年6月



# 目 次

I	法人の概要	.....	1
	1 法人の概要		
	2 組織		
II	事業報告	.....	2
III	平成25年度決算	.....	3
	1 損益計算書		
	2 株主資本等変動計算書		
	3 貸借対照表		
IV	事業計画（方針）	.....	5

# I 法人の概要

## 1 法人の概要

(1) 法人名 アビスパ福岡株式会社

(2) 主要な事業

サッカーの興業，サッカースクールの運営ならびにサッカー指導者の育成およびプロサッカーチームに関する各種オリジナルグッズの販売。

(3) 設 立 平成6年9月29日

(4) 資本金 125,990千円

(5) 本市出資の目的

Jリーグの地域に根ざしたホームタウン制により，本市のスポーツ文化の振興，青少年の育成並びに地域経済の活性化を目的として出資。

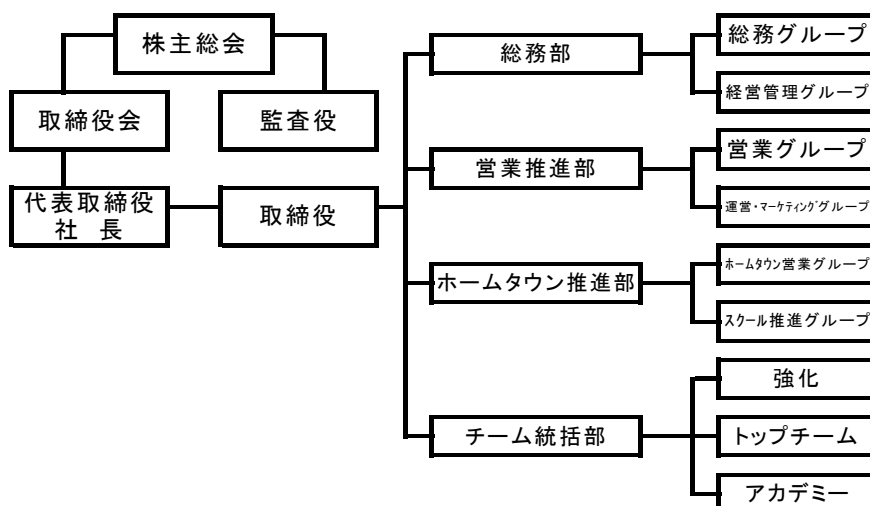
## 2 組織

(1) 役員名簿

(平成26年6月1日現在)

地位	氏名	担当または主な職業
代表取締役社長	野見山 篤	
取締役	樽見 哲	
取締役	古賀 靖教	コカ・コーラウエスト株式会社 取締役 常務執行役員 総務統括部長
取締役	井上 るみ	福岡市 市民局長
取締役	荒牧 智之	九州電力株式会社 取締役 常務執行役員
取締役	川 寄 隆 生	株式会社西日本新聞社 代表取締役社長
取締役	武井 秀樹	株式会社九電工 取締役 上席執行役員 営業本部副本部長
取締役	川原 武浩	株式会社ふくや 取締役 統括部長
監査役	萬田 昭彦	株式会社福岡銀行 総務広報部長
監査役	開地 龍太郎	株式会社西日本シティ銀行 執行役員 総務部部长

(2) 組織図



## II 事業報告（平成25年2月1日から平成26年1月31日まで）

広告収入については、ユニフォームスポンサーとしてシーズン当初より西日本鉄道株式会社（胸）、株式会社ふくや（袖）、株式会社西日本新聞社（パンツ）の地場企業3社と契約したものの、背中ユニフォームスポンサーを契約することができなかったことと大ロスポンサーの減額が大きく影響し、対予算比4千8百万円の減収となりました。

入場料収入については、集客施策として行った席種の見直しにより1試合当たりの平均入場者数は前年の5,586人と比べ微増の5,727人となったものの、客単価は減少し、対予算比2千8百万円の減収となりました。

また、広告収入及び入場料収入が予算を大きく見込みを下回ったにもかかわらず、支出を削減できなかった結果、シーズン終盤にかけて資金繰りが悪化し、クラブ存続の危機に陥りました。この危機に際しては、全国各地から多くの支援が寄せられ、一時的に回避することができました。

チームについては、今シーズンよりマリヤン・プシュニク監督を迎えてプレーオフ圏内の順位を目標にアグレッシブなサッカーを掲げてリーグ戦に臨みましたが、夏場以降失速し、昇格争いに加われないままシーズンが終了するという大変不本意な結果となりました。

しかし、若手選手の育成という面では、今シーズンに加入した2名の選手がU-21の代表及び代表候補に選出されるなど今後に期待が持てるシーズンとなりました。

アカデミー（育成）部門については、2013年シーズンのトップチームにおけるアカデミー出身者の試合登録メンバーが最高3名であり、目標の6名までには到達できませんでしたが、年代別の日本代表及び代表候補に3名が選出されるなどある程度の成果があったシーズンでした。

スクール推進、ホームタウン推進活動におきましては、サッカースクールを中心に福岡市から委託を受けたコーチ派遣型の「アビースクール」、ブラインドサッカー支援事業、介護予防事業、心の教育プロジェクト事業など、地域活性化の一助として社会貢献できるような活動を展開いたしました。これらの活動には、一年間で約32,000人の参加がありました。

こうした活動により今年度の売上高は、入場料収入1億7千9百万円（対前年比5.7%増）、広告収入3億2千3百万円（対前年比7.4%増）、その他の収入2億3千2百万円（対前年比7.9%減）を合計した8億7千1百万円（対前年比2.0%増）となりました。営業費用は、9億6千6百万円（対前年比4.8%減）となり、営業損失は9千5百万円となりました。

また、経常損失は8千6百万円、当期純損失は8千7百万円となりました。

### Ⅲ 平成25年度決算（平成25年2月1日から平成26年1月31日まで）

#### 1 損益計算書（平成25年2月1日から平成26年1月31日まで）

（単位 千円）

科 目	金 額	
売 上 高		871,410
売 上 原 価		741,603
売 上 総 利 益		129,806
販売費及び一般管理費		225,336
営業利益（△損失）		△95,529
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	9	
その他の営業外収益	19,111	19,120
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	7,210	
支 度 金 償 却	2,420	
雑 損	305	9,936
経常利益（△損失）		△86,345
税引前当期純利益（△損失）		△86,345
法人税、住民税及び事業税		1,059
当期純利益（△損失）		△87,404

#### 2 株主資本等変動計算書（平成25年2月1日から平成26年1月31日まで）

（単位 千円）

	株 主 資 本					純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金	株主資本合計	
		資本準備金	その他 資本剰余金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金		
前期末残高	125,990	35,000	161,044	△ 262,481	59,553	59,553
当期変動額						
当期純利益(△損失)				△87,404	△87,404	△87,404
当期変動額合計				△87,404	△87,404	△87,404
当期末残高	125,990	35,000	161,044	△ 349,886	△27,851	△27,851

### 3 貸借対照表（平成26年1月31日現在）

（単位 千円）

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>（資産の部）</b>		<b>（負債の部）</b>	
<b>流動資産</b>	<b>85,992</b>	<b>流動負債</b>	<b>327,840</b>
現金預金	56,172	買掛金	241
売掛金	9,899	短期借入金	100,000
商品	7,559	一年内返済予定長期借入金	12,000
貯蔵品	1,096	未払金	33,164
未収入金	5,058	割賦未払金	14,341
前払費用	6,206	未払法人税等	1,546
		前受収益	157,582
		預り金	3,764
		未払消費税	5,199
<b>固定資産</b>	<b>259,478</b>	<b>固定負債</b>	<b>45,480</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>257,414</b>	長期借入金	23,000
建物	130,979	長期割賦未払金	19,875
建物附属設備	16,027	預り保証金	2,605
構築物	9,471		
工具器具備品	936	<b>負債合計</b>	<b>373,321</b>
土地	100,000		
<b>投資その他の資産</b>	<b>2,063</b>	<b>（純資産の部）</b>	
長期前払費用	1,824	<b>株主資本</b>	<b>△27,851</b>
その他の投資	239	<b>資本金</b>	<b>125,990</b>
		<b>資本剰余金</b>	
		資本準備金	35,000
		その他資本剰余金	161,044
		<b>利益剰余金</b>	
		その他利益剰余金	
		繰越利益剰余金	△ 349,886
		<b>純資産合計</b>	<b>△27,851</b>
<b>資産合計</b>	<b>345,470</b>	<b>負債及び純資産合計</b>	<b>345,470</b>

#### IV 事業計画（方針）

クラブライセンス制度が導入されて3年目の2014年度は、クラブ存続をかけて前期の債務超過の解消を達成するべく、売上高の増加と経費縮減について、社員一丸となって取り組むとともに、いつまでも子どもたちに夢と希望、そして感動を与えられる市民クラブ「アビスパ福岡」となるためには、経営基盤の強化と安定化が最も重要であると考えております。

しかしながら、経営を取り巻く環境は非常に厳しい状況が続いており、さらなる経費縮減を行っていくとともに、アジアの玄関口である福岡市をホームタウンとしている地の利を生かして、アジア諸国のサッカークラブと連携し、コーチ派遣業務等を行うことにより売上高の増加に努めてまいります。

また、若手や地元出身選手の育成にこれまで以上に重点を置き、トップチームとアカデミーのさらなる連携を強化しながら、アカデミーからプロ選手の輩出を目指します。

アビスパ福岡が真の市民クラブとして、多くの人々に愛され、地域の誇りとなるよう、今後も努力してまいります。